

天声人語

国籍を超えて、同じ桜のジャージーに身を包むラグビー日本代表。「一心桜体」を表現したチームに列島がわいた。ゴルフの渋野日向子選手は全英女子オーブンを制して「霸顔溢笑」。新しいヒロインが誕生した▼住友生命が発表した年末恒例の「創作四字熟語」である。30回目を迎えた今年は、過去最多の2万編が寄せられた。歌人の俵万智さんが選んだ優秀作10編と入選作40編で、この1年を振り返る▼今年は台風の被害が東日本で相次いだ。千葉で電力インフラをなぎ倒した「電倒多難」は、今後の対策も前途多難。10月には、あちこちの河川で水があふれる「多川氾濫」が▼沖縄の象徴・首里城が猛火に包まれた。「茫然城失」の多くのまなざしが、失意の深さを物語る。京都では卑劣な放火でアニメ製作に携わる36人の命が失われ、世界中から「哀京之意」が届いた▼隣国との関係は冷え切った。「韓係改善」の道筋がなお見えない。EU離脱をめぐり英団は「右英左英」の連続。今月の総選挙は離脱派が制した。国内では戦争のない平成が幕を閉じ、新元号の発表でお祭りムードに。国際平和ならぬ「国祭令和」だった▼作品の募集締め切り後のニュースで、小欄も練ってみた。アフガニスタンで多くの井戸と水路を残した中村哲医師。その献身に「灌溉無量」だった住民たちが、凶報に涙した。首相主催の桜を見る会で、問題が次々と。税金で地元支援者をもてなす「桜飯振舞」にあぜんとした。追及は年を越えて続くか。